

令和3年度事業報告

はじめに

我が国においては、人口減少と少子高齢化が進展している中、誰もがいくつになっても活躍できる社会の実現が求められる状況にあります。

こうした状況下、新型コロナ変異株の感染拡大の影響により、国内においては、自粛や緊急事態宣言による経済活動の停滞などにより、多くの産業に影響を与え、働き方やライフスタイルにおいて大きく考え方を変えることとなりました。

センターでは前年度に引き続きコロナウイルス感染拡大防止策として「社会的距離」や「3密（密閉空間・密集場所・密接場面）」を避けるなどの方策をとり、各種行事を縮小や中止することといたしました。

さて、管内の雇用情勢は有効求人倍率が1.15倍（すかがわ統計月報4年4月）で、福島県平均より0.23倍低く、月間有効求職者数は1,981人、60歳以上の高齢者求職者数は236人で、前年同月比では減少したものの、通年を通し高齢者雇用の求人は少なく業種により、ばらつきも見られる状況となっています。

こうしたなか、センターは、会員の安全就業を確保し、適正就業ガイドラインを順守しつつ、事業の効率的・効果的な運営に努めてきました。また、会員の多様な就業就労ニーズに応えるため、日常生活に密着した就業機会の確保と提供を通し、生きがいの充実と社会参加への促進や地域社会の活性化に貢献をいたしました。

さらには、「自主・自立・共働・共助」の基本理念を堅持しながら、地域社会の「支え手」、「担い手」になれるように、会員拡大と就業機会の拡大確保を進めるほか、組織体制の充実と事業の活性化に取り組みました。

事業実績は会員数568人、就業延日人は目標60,000日人より4,353日人少ない55,647日人とどまりました。また、会員の就業による契約金額は3億1千581万円余となり、前年度より725万円余増加しました。令和3年度事業実績は次のとおりです。

(1) 事業実績

単位：人・件・日人・円

事業名	会員	受注件数	実人員	事業別 実人員	就業延日人員	契約金額
事業実績	568	3,696	460	528	55,647	315,810,042
受託（独自）事業	568	3,614	460	317	35,582	200,819,616
指定管理事業		4		56	5,578	19,986,375
労働者派遣事業		77		148	13,767	94,580,726
職業紹介事業		1		7	720	423,325
前年度事業実績	582	3,696	481	540	54,843	307,955,974
比較増△減	△14	0	△21	△12	804	7,854,068

注 上記、職業紹介事業の就業延日人は紹介手数料を頂いた6ヶ月間で、契約金額は賃金6ヶ月分にかかる手数料金額です。

1 会員拡大と就業機会開拓及び機能強化推進事業の推進

(1) 会員拡大確保事業

センター広報資料・会員知人の口コミなどの入会促進により、新たに41人のシニアがセンター事業に賛同し入会されました。これらの要因として、会員募集・シニアパートナーチラシを全戸に複数にわたり配布回覧をしたこと、会員の口コミによる入会促進によるものと思われまます。また、入会説明会を月に2回を原

則として定期的に開催するなか、一般企業等からの求人者の要望に即時対応するため、随時に入会説明会を開催した結果によるものとも考えられます。一方、退会された会員55人の方々の退会理由は、会費未納・病気・その他就職の順となっています。このため、センターが目標とした会員620人（全シ協連目標577人）は達成することができませんでした。

全会員の平均年齢は73.9歳と前年度より0.7ポイント高くなり、このような状況はここ数年間続いています。こうしたなか、センター事業に賛同し新たに会員になられた方の平均年齢は、69.4歳、退会会員の平均年齢は73.9歳となり、入退会年齢から見える在籍年数は4年6ヶ月、前年度と比較すると在籍年数が6ヶ月程度の伸びとなっています。これらは、「生きがい」、「社会参加」、「健康維持・増進」などが主な要因となっています。会員の入会・退会及び年齢別会員状況は次のとおりです。

① 入会・退会状況

単位：人・%

年度別	入会者				退会者				現存数		
	男	女	計	入会率	男	女	計	退会率	男	女	計
令和3年度	31	10	41	7.2	30	25	55	9.6	358	210	568
令和2年度	32	19	51	8.7	25	21	46	7.9	357	225	582
比較増△減	△1	△9	△10	—	5	4	9	—	1	△15	△14

② 年齢別会員状況

単位：人

年度別	64歳以下		65～69歳		70～74歳		75歳以上		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
令和3年度	13	4	88	38	133	79	124	89	358	210	568
令和2年度	14	12	98	47	135	85	110	81	357	225	582
比較増△減	△1	△8	△10	△9	△2	△6	14	8	1	△15	14

(2) 受託事業と独自事業の推進

① 受託事業

新型コロナ変異株などの感染拡大のさなか、公共・公社公団等の施設管理事業も再開し、一般企業等から継続的に就業の依頼が入り、件数及び就業延日人員並びに契約金額が増加しました。一方、個人家庭においては除草作業が増えるなか、兼業農家からの果樹、農耕作業の受注量が減少しました。

② 独自事業

ハンドクラフト班が製作し販売する「モップの人形製作」、手作り趣味の会会員が製作し即売する「手工芸品」、わら工芸品部会が製作し販売する「彼岸花」など、コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止することとしました。公共・民間別事業実績は次のとおりです。

公共・民間別事業実績

単位：件・人・人日・円・%

項目 区分	受注件数	実人員	就業延人日	契約額 (配分金・材料費等)	前年度契約額	増減率
公共事業	480	373	5,528	31,496,847	29,472,994	106.9
指定管理事業	4		5,578	19,986,375	23,313,186	85.7
公社公団等	128		4,833	24,916,775	19,979,454	124.7
一般企業等	1,093		18,399	97,496,303	85,036,429	114.7
個人家庭	1,913		6,822	46,909,691	49,457,901	94.8
独自事業	0		0	0	56,000	—
合計	3,618	373	41,160	220,805,991	207,313,964	106.5
令和2年度	3,619	388	39,687	207,317,269		92.9
比較増△減	△1	△15	1,473	13,488,722		

(3) 労働者派遣事業と職業紹介事業の推進

臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の基本原則を守り、新規に受注した就労に関しては、会員が長年培ってきた豊富な経験や知識を活かせるよう、事務局職員とマッチング推進員（県シルバー人材センターが雇用）が情報の共有を図り、連携しながら会員の就労機会の拡大と確保を推進しました。

また、「シルバー人材センターで働く高齢者の就業日数などの上限や請負、委任、派遣、職業紹介といった高齢者の就業形態別の業務方法など」を紹介する就業の冊子を、一般企業等に配布し理解を得られるように努めました。

① 労働者派遣事業

福島県シルバー人材センター連合会からの指導を得て、一般企業等からの新規受注に関しては、仕事の内容を精査し発注者の理解のもと、派遣事業を希望する会員に就労機会の提供を行うほか、発注者や就労会員からの意見・要望・提案などを聞き入れながら事業の推進を図りました。労働者派遣事業実績は次のとおりです。

労働者派遣事業実績

単位：人・日人・件・円

項目 年度別	登録 人員	就業 実人員	受注 企業数	受注 件数	就業 延日数	契約金額 (賃金・手数料等)	
						うちセンター手数料	
令和3年度	209	148	33	77	13,767	94,580,726	14,302,994
令和2年度	209	143	32	75	14,281	100,095,499	15,143,201
比較増△減	0	5	1	2	△514	△5,514,773	△840,207

② 職業紹介事業

「求人者と求職者の間における雇用関係の成立を斡旋する事業（職業紹介事業）」の事業拡大を図るため、広報媒体などを活用した周知活動を行いました。しかし、一般企業等においては事業の浸透も浅く、求人も少なく課題として残りました。職業紹介事業の事業実績は次のとおりです。

職業紹介事業実績

単位：人・日人・件・円

項目 年度別	登録 人員	就業 実人員	受注 企業数	受注 件数	就業 延日数	契約金額（賃金）	
							手数料
令和3年度	7	7	1	1	720	4,271,747	423,325
令和2年度	9	9	2	2	875	4,938,735	434,612
比較増△減	△2	△2	△1	△1	△155	△666,988	△11,287

2 安全適正就業事業の推進

安全・適正就業推進事業はセンターの根幹であるため、安全管理委員会委員を中心に安全適正就業推進基本計画を策定し、組織的・計画的に取り組む事業を推進しました。こうした中、全国一斉「安全適正就業強化月間」に併せ安全就業パトロールを実施するほか、傷害損害事故の分析などを行い事故防止の一助としました。

(1) 安全適正就業推進計画に基づく事業

安全適正就業推進計画に基づき、会員の就業中・就業途上における事故防止の注意喚起、啓発を行うほか、健康診断受診及び診断書提出義務を「事務局お知らせ版」を活用し全会員へ周知するほか、安全就業への意識高揚に努めました。しかしながら、就業中、就業途上の傷害損害事故が前年度より5件多い10件の発生となりました。

(2) 適正就業ガイドラインに沿った会員就業

適正就業ガイドラインに沿った業務運営を行うため、発注者からの仕事の依頼については、内容を詳細に把握し、就業する会員に伝達できる体制づくりを推進しました。

また、請負・委任・委託での就業として問題のある場合には、シルバー派遣事業などに切り替えるようにし、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務にかかる就業の範囲を著しく逸脱していると思われる就業については是正を行いました。さらに、すべての会員がワークシェアリング（公平・平等な就業）に基づき、ローテーションによる就業ができるように努めました。令和3年度の傷害損害事故状況は次のとおりです。

傷害、損害事故状況

単位：件

		令和3年度	令和2年度	増△減	備考
傷害 損害 事故	傷害事故 ①	6	5	1	通院 1日～24日以内
	転倒、転落	2	4	2	
	踏み抜き、刺し	1	0	1	
	挟まれ	1	0	1	
	無理な動作、動作の反動	0	1	△1	
	その他	2	0	2	
	損害事故 ②	4	0	4	損害額 137,060円
事故件数合計 (①+②)		10	5	5	
就業区分	就業中	9	4	5	
	就業途上	1	1	0	

3 普及啓発事業と相談事業の推進

(1) 普及啓発事業

須賀川市が市民に配布する「すかがわ広報」に併せ、シルバー人材センターリーフレット（シルバー人材センターの就業形態、労働者派遣事業、職業紹介事業について紹介）、チラシを数回にわたり、配布回覧を行うほか、住宅密集地を中心にポスティング活動を実施、ホームページによる情報発信、広告媒体による普及活動、会報「シルバーだより」による普及活動を行いました。また、年に数回実施するボランティア活動においてはコロナ禍のため、1回の開催となりました。

主な普及啓発活動

項	目
会報「シルバーだより71号」の発行（会員数及び請負、派遣の受注及び就業実態等）	
シルバー人材センターのご案内の回覧配布（高齢者の就業日数・時間、形態、シルバー派遣、職業紹介等）	
須賀川市役所ロビー掲示板を活用したお知らせ（センター事業の目的、位置図等）	
高速バス時刻表の折り込みにセンター名を記載したチラシの配布	

(2) 高齢者相談事業

会員入会説明会開催日に併せて高齢者相談会を開催しました。

4 調査研究事業と訓練研修事業の推進

センターの事業運営を円滑に推進するため、関係機関・関係団体などが開催する研修会・講習・セミナーなどに、職員が出席（リモート、オンライン）できるように心がけました。

(1) 調査研究事業

会員の就業に対する意識の変化や就業の実態、在籍会員の現状と問題点などについて把握するため、「会員意識調査」、発注者のご意見・ご要望等に応えるための「発注者満足度調査」を今年度も実施し、会員の就業就労に伴うミスマッチの解消を図るとともに、事務局と会員、発注者との意思疎通をスムーズに図れるよう体制強化に努めました。

(2) 訓練研修事業

一般労働者派遣事業で就労する会員の研修会を開催し、派遣事業の基本的なあり方、派遣従事者の心得などを習得しました。

5 働き方改革と職場環境及び事務局体制の充実

職員個々の能力をひきだし、多様性、個性を尊重する働き方を推進するため、職員就業規則の全文改正を行ない健康と安全に配慮した働きやすい環境を作りました。

また、組織強化と事業運営を円滑に対処するため、理事会運営規程をはじめ各種の運営規程を制定するとともに事務局体制の充実に努めました。

6 公の施設（指定管理施設）の健全な管理運営の推進

「須賀川市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例」のもと、指定管理者制度により本年度から須賀川駅前自転車等駐車場等は3年間、須賀川市老人福祉センター等2施設は5年間の指定管理者となり公共施設の利用目的に沿った管理運営を行いました。

須賀川駅前自転車等駐車場等においては、就業体制の見直し、営業時間の短縮など須賀川市関係課と協議し、感染拡大防止対策を最優先に管理運営に努めました。また、須賀川市老人福祉センター・須賀川市民温泉の2施設はコロナ禍のなか、感染拡大防止策の一環として「社会的距離」や「3密（密閉空間・密集場所・密接場面）」を避けるなどの方策を検討し、須賀川市関係課と協議し施設の管理運営に努めました。

(1) 須賀川駅前自転車等駐車場等

駅前近隣の有料駐車場が月額料金となったことに伴い、須賀川駅前駐車場を通勤手段として利用する市民が増えたなか、須賀川駅前自転車等駐車場においても利用者が前年度より8%程度の伸びとなりました。

こうした中、本年度も自転車の無料点検の日を設定し整備点検を行い、利用者への安全運転について注意喚起を行うほか、須賀川市担当課と情報共有と連携を図りつつ利用者の立場に立った施設の管理運営を行いました。

(2) 須賀川市老人福祉センター、須賀川市民温泉2施設

会員の長年培った知識、経験を活かしつつ、施設利用者の安全安心を第一に考え利用者の利便性を考慮するために施設の一部を修繕するほか、市ホームページ・窓口掲示により障害者の利用が増加を図りました

また、防犯カメラを設置し館内及び駐車場の警備、防犯に努めました。なお、独自事業として実施しているカラオケ事業はコロナ禍の影響により、年中を通し3ヶ月間の休止となりました。

須賀川駅前自転車等駐車場等及び須賀川市老人福祉センター等の事業実績は次のとおりです。

単位：日人・円

区 分	項 目	令和3年度施設の利用状況		令和2年度利用料金	前年比 (%)
		利用人員	利用料金		
駐 車 場 等	須賀川駅前自転車等駐車場	18,140	3,590,170	3,314,880	108
	須賀川市駅前駐車場		1,779,900		
	小 計 ①	18,140	5,370,070	4,574,280	117
福 祉 施 設	須賀川市老人福祉センター	18,373	5,360,570	3,838,940	140
	須賀川市民温泉	81,884	21,760,185	21,031,260	104
	須賀川市老人憩の家	0	0	1,282,730	—
	小 計 ②	100,257	27,120,755	26,152,930	104
	独自事業（カラオケ利用料等）③	5,965	1,069,050	990,069	108
	令和3年度事業実績（①②③）	124,362	33,559,875	31,717,279	106
	令和2年度事業実績（①②③）	115,142	31,717,279		—
	事業実績前年度比較 増△減	9,220	1,842,596		—